

東日本大震災 10 年 風化させない取り組みとして“日常生活の尊さ”をテーマにした詩のオリジナル朗読コンテンツ “311 VOICE Message”を radiko 内に特設サイトとして設置

株式会社 radiko (代表取締役社長: 青木 貴博、所在地: 東京都港区) は、3 月 11 日 (木) となる午前 0 時から 18 日 (木) の深夜 12 時までの期間、ラジコ内にオリジナル朗読コンテンツ“311 VOICE Message” (<https://radiko.jp/rg/311/voicemessage/>) の特設サイトを設置します。

本企画は、今を生きる“日常生活の尊さ”をテーマにした詩の朗読コンテンツを通して、日常を消失させた東日本大震災の風化を防ごうという取り組みです。ひとつの詩を、本企画に賛同していただいた俳優の方々が、それぞれの表現で朗読します。朗読音声は radiko で、全国どこからでも無料で聴取できます。

詩は、CMディレクターで小説家でもある高崎卓馬氏のオリジナルになります。詩に、朗読に込めた想いを氏は以下のように語っています。

「コロナの影響のなか、あの震災から10年が経とうとしています。忘れてはいけないあの出来事から私たちが学ばなければいけないものは何か。そんなことを考えて言葉をならべていきました。たくさんの俳優さんたちに音読をしていただき、それぞれの思いが重なり、そのどれもがすこしずつ違う意味を帯びて立ち上がります。耳は心のそばにあるのだと聞いたことがあります、みなさんの声を通してこの詩を聞くとそれを実感します」。以下、詩の全文です。

日々は
それだけで、
宝物だ

お母さんにありがとう、もういちど言っておこう
お父さんにおごつかい、もういちどもらっておこう
お兄ちゃんにゴメンネ、もういちどだけ伝えよう
妹のあたまをポンポン、もういちどしておこう
忙しくて
悩んでも
戦つても
自分のことではいいっぱいでも
もういちどやっておこう
いちばんの宝物はいまそこにあるもの
知ってるし
わかってるし
言葉にしくたつて大丈夫だし
でも
もういちどやっておこう
大切なものをたいせつにしてると
かけがいのないものになる
日々はそれだけで、宝物だから

お母さんにごめんね
お父さんにありがとう
お姉ちゃんにちよっかい
弟とけんか
もういちどやっておこう

日々はそれだけで、宝物だから

※3月11日、毎日新聞朝刊にも詩の全文が掲載されます。

現在、本企画に賛同し朗読していただいている方々は、以下の通りです(50音順)。

安藤サクラ、伊藤沙莉、上野樹里、大森南朋、門脇麦、岸井ゆきの、窪田正孝、
桜井ユキ、佐藤健、土村芳、長澤樹、松岡茉優、松田翔太、本木雅弘

【“311 VOICE Message”特設サイト概要】

※本サイトは、本企画に賛同していただいている方々のご協力のもと制作されています。

- 詩 高崎卓馬
- 朗読 安藤サクラ、伊藤沙莉、上野樹里、大森南朋、門脇麦、岸井ゆきの、窪田正孝、桜井ユキ、佐藤健、土村芳、長澤樹、松岡茉優、松田翔太、本木雅弘
- Web サイト制作 イラストレーション 牧野伊三夫
音楽 GoodMoon
デザイン 高木大輔
プロデュース 岡本拓自
- 特設サイト <https://radiko.jp/rg/311/voicemessage/> (ラジコサイト内)

